

秋の大運動まとめ集会 2026 年 2 月 10 日

大阪学童保育連絡協議会（学童）まとめ



1. テーマと重点

◆とりくみテーマ

子どももおとなも ゆとりも広がる 学童保育に

—どんなときも、子どもの声が聴かれ、子どもとつくる生活の場—

◆とりくみの重点：「ねがいを確かめあい・共有しながらとりくむ」

- ・子どもに放課後どんなふうにご覧してほしい？ 学童保育はどんな場であってほしい？
- ・子どもの声を聴きあい、子どもたちがねがう 学童保育づくりをめざそう—整備も内容も
→各学童・保護者会で聴きあい、地域の連協会議（指導員労組）、大阪学保協の会議で交流し共有

◆秋の大運動・学童版チラシ「レッツ署名」を作成してとりくみスタート

2. 子どもたちの声を聴きあう

- ◆いい所：あそべるのがいい／ちがう学年・上の子や下の子と仲良くなり、みんなをまとめたりできる／自分たちで行事とか考えてできる／学童は自分らしくいれる／私にとって幸せな時間／けん玉とか遊びとか教えてくれる／友達ができる／上の子や指導員がやさしい・おもしろい 等
➡あそべる・異学年・自分らしくいれる・仲間の中で自分の育ちを実感 など

- ◆もっとしたい（充実を）：あそび・外遊びがもっとしたい／もっと自由にしたい・ゆっくりしたい／毎月公園に行きたい／おもちゃ・本がもっとほしい／おやつを前みたいにしてほしい（アイス・ゼリー出して・手作りしたい：民間委託での変化） など

- ◆つらい・イヤや・変えてほしい：【待機児、学年制限】：4年なっても行きたかった／（家、寂しい）6年まで学童行きたい／【部屋問題】せまい・人数が多い・うるさい・静かな部屋ほしい／人数多いから我慢せなアカン・時間がかかる（あそび・手洗も）／【タイムシェア】あそびを続けられへん、学童のモノ置かれへん【指導員】怖い、ルールが多い、話きいてくれない 等
➡整備不足、施設の貧しさ、安心で安定的な指導員体制になっていない（研修含む） など

◆子どもの声を聴いてきて交流し、必要なことに取り組もう…と取り組んできた

保護者会で聴きあい、地域連協（労組）、大阪の会議で交流➡署名・懇談内容などに反映

3. 署名項目

◆府議会あて

- ・学童保育が必要な1～6年生が、希望する施設に「入所できる整備」を。40人以下、専用施設確保して
- ・「緊急時・災害時」に、セーフティーネットになるよう整備・対策を
- ・「指導員の確保・定着のため」に、専門職にふさわしい処遇保障を（その補助を）
- ・障害児加配を含む「基準配置」ができるため、指導員不足の検証を行い、確保・定着のとりくみを
- ・学童保育の保育料の減免を

◆市議会あて（各地の要望）

- ・待機児童の解消 ・大規模つめこみの解消 ・指導員の正規化 ・安心安全な施設 ・トイレの整備 等

4. キャラバン

- ◆**子どもの声** 異年齢のよさ、高学年・6年まで、イヤの声に耳傾けて改善をはかる
➡「子どもの声・ねがい」の共有＝担当課との一致もはかりやすい＝実感
- 保護者の声** 助かっている、施設・トレイ整備、高学年まで、夏の昼食、開所時間
- ◆**施設整備** 大規模、タイムシェア問題→適正規模・専用化（30人以下へ）願い広げられたら
 - ・全体一学童保育の利用ニーズは増えている、子どもの生活の場もっと適切な整備の必要性
 - ・木造施設 池田市一森林環境譲与税、茨木市一4年までモデル実施、整備の新設は木造で
 - ・ある市 新規増設するがトイレは高いと、何度も交渉したが予算もらえず…いくら？
- ◆**指導員の確保・定着・向上、常勤複数**
 - ・「常勤複数」の国の補助、活用地域広がる。※週5など、毎日同じ指導員が確保できれば
 - ・処遇改善も一定進み中（特に公設公営）で、去年より指導員の新規採用ができている地域多数
 - ・定着の策：学習・交流「市の研修」「巡回相談」「ブロック交流」等、子ども理解がやりがいに
- ◆**国・府への要望**
 - ・学童の補助金、処遇改善費、施設整備費（賃借料、土地購入費も）をあげてほしい
 - ・学童保育の制度的位置づけが低すぎる（保育は実施義務、学童保育は努力義務） など

5. ふりかえり～今後に向けて

- ・施設が狭い・人数多い・場所がわるい・トイレが未整備など、また指導員不足が深刻などの問題がある。
子どもがしんどい、に加えて、指導員の先生が保育がしにくい状況がある。
そうしたことを、秋の大運動にとりくむことで、市や議会・議員さんにも伝えられた。
懇談をしたことで、対策がとられたところもあった。こうしてとりくめてよかった
- ・保護者会での集まりが減っているので、署名のとりくみ・署名を集めるのが難しくなっている。
- ・しかし、子どもが安心して楽しく「通いたい学童保育」になってほしい、「必要な子がみんな通えるように」というのは、みんなの共通のねがい。よくなしてほしい想いはたくさんあり、想いは伝えて改善につながってほしい。
- ・オンライン署名が、請願署名として有効になるようにできないか、という声もでている。
- ・楽しい「行事」、子育てを語りあえる「学習・交流」など、楽しいとりくみで集まって、子どもの育ちあいのステキさ、学童保育のよさを感じあいながら、その場で署名用紙を配ったり、書いてもらったり…
「楽しい」とりくみ作りと、願いをこめる署名をつなげていけるように、来年に向けて考えたい
- ・保護者同士も、子どもの声を聴きあい（良いことは続くよう。イヤなことは改善されるよう）、学童保育のよさ＝異年齢での育ちあいの姿などを指導員から聞くことを大事にしながら、「子どもが通いたい学童づくり」にむけて、署名でねがいを束ね、改善・発展を進めることは大切に続けたい